

1 事業情報					水道事業評価(令和3年度)		担当課	上下水道総務課
目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-3 災害用資機材の整備	

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。
事業目的	災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と併せ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検及びリフターの保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭での水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。
期間	令和3年4月 ~ 令和4年3月
予算額 決算額	予算額
	単位:千円
	総事業費
	収益的支出
	資本的支出
	総事業費
	収益的支出
	資本的支出
	執行率
予算額 決算額	単位:%
	事業費計
	工事費
	原材料費
	委託料
	賃借料
	その他
	人件費

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	10,692	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	35%		
進捗状況	・給水袋購入のための各社製品の情報収集を行いました。 ・ボトル水の製造を行い、効率的な配備が行えるよう計画を策定中です。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。 ・資機材の点検を行い、不足部品等の購入を行いました。 ・リフター点検を行い、災害時の資機材運搬方法を確認しました。
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた
事業達成度 C~Eの理由	

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	単位		目標値					
算出式・根拠			実績値					
指標名	単位		目標値					
算出式・根拠			実績値					
指標名	単位		目標値					
算出式・根拠			実績値					

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおり できた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおり できた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおり できた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおり できた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり 成果を上げた	・現在の資機材の管理情報(数、場所、状態)を常に把握し、局内の職員に共有を行い、災害に備えます。 ・局職員が必要とする資機材や物資を把握し、配備します。	現状維持で継続